

令和5年4月14日  
国土交通省関東地方整備局  
鬼怒川ダム統合管理事務所

## 用水補給の本格開始前に、鬼怒川4ダムの貯水池が満水到達。

鬼怒川ならびに利根川本川下流部沿川の栃木県、茨城県、千葉県の水源となっている鬼怒川4ダム（五十里（いかり）、川俣（かわまた）、川治（かわじ）、湯西川（ゆにしがわ）ダム）の貯水池が満水になりました。

本年は、山間部の降雪量が平均に比べて少なく、約1ヶ月早い雪どけとなりました。

このような状況の中、4ダムでは、ダム下流の河川環境及び水利用の状況を確認しながら、3月上旬から徐々に始まった雪どけや降雨を慎重に貯め込んできました。

その結果、4ダムの合計貯水容量2億5,310万 $\text{m}^3$ に対して、4月14日0時の合計貯水量は、2億3,924万 $\text{m}^3$ となっています。

当事務所では、鬼怒川の沿川地域で本格的に始まるかんがいによる水利用など水需要に対応した用水補給を確実にを行うために、引き続ききめ細かいダム操作を行っていくこととします。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 栃木県政記者クラブ  
宇都宮市役所記者クラブ 日光記者クラブ

<問い合わせ先>

国土交通省関東地方整備局 鬼怒川ダム統合管理事務所

電話：028-661-1341（代表） FAX：028-660-2344

・副所長 館野 悟（たての さとる）（内線：204）

・管理課 課長 伏見 一徳（ふしみ かずのり）（内線：331）



# 昨年9月末の様子 (9月30日までは、洪水に備えてダム の貯水位を下けている期間です。)

# 現在の様子

## 五十里ダム



## 川俣ダム



## 川治ダム

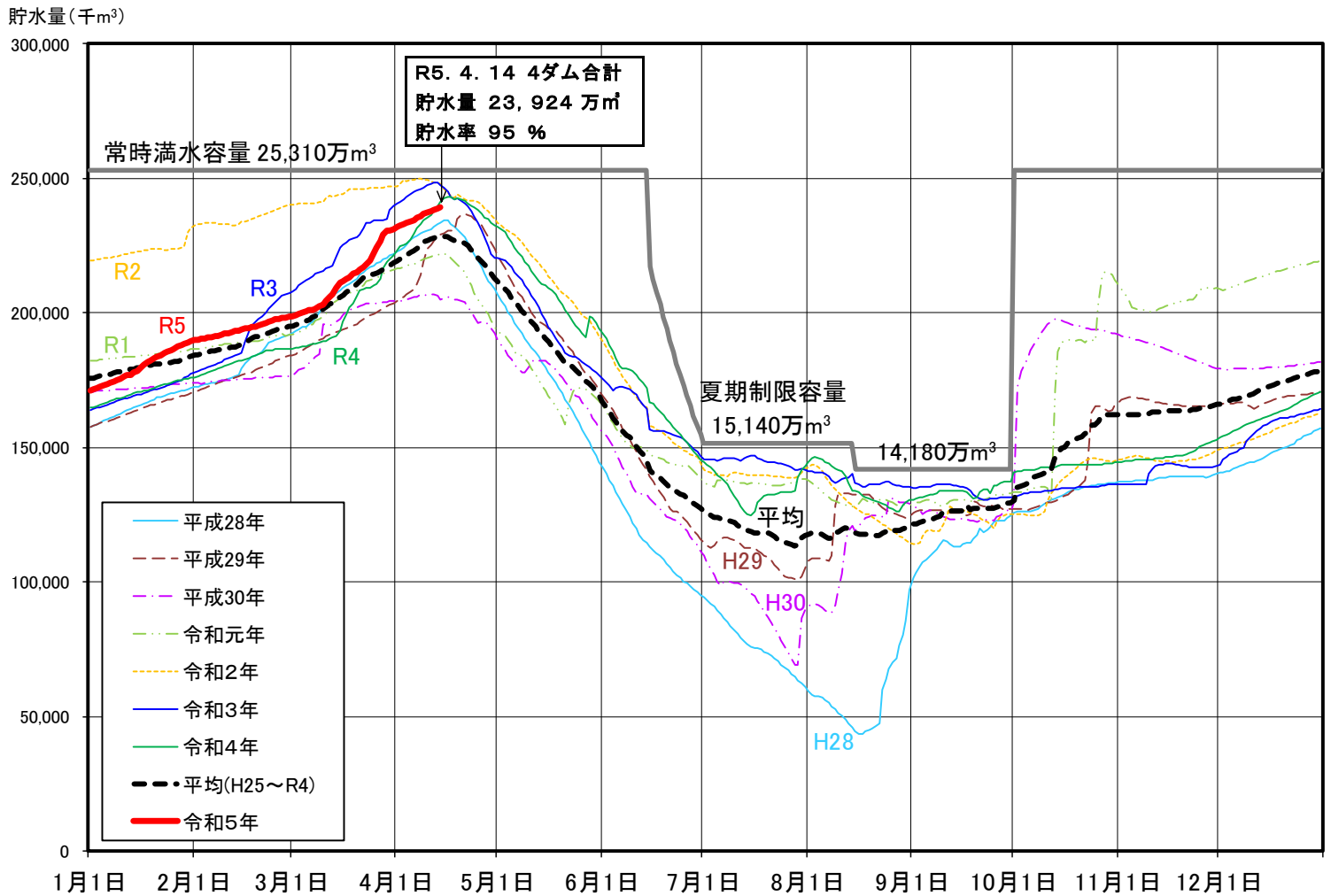


## 湯西川ダム



# 鬼怒川4ダム合計貯水量図

いかり かわまた かわじ ゆにしがわ  
(五十里・川俣・川治・湯西川ダム)



※平成28年、29年、30年は、鬼怒川において渇水により取水制限が行われた年。

## 令和5年4月14日0時

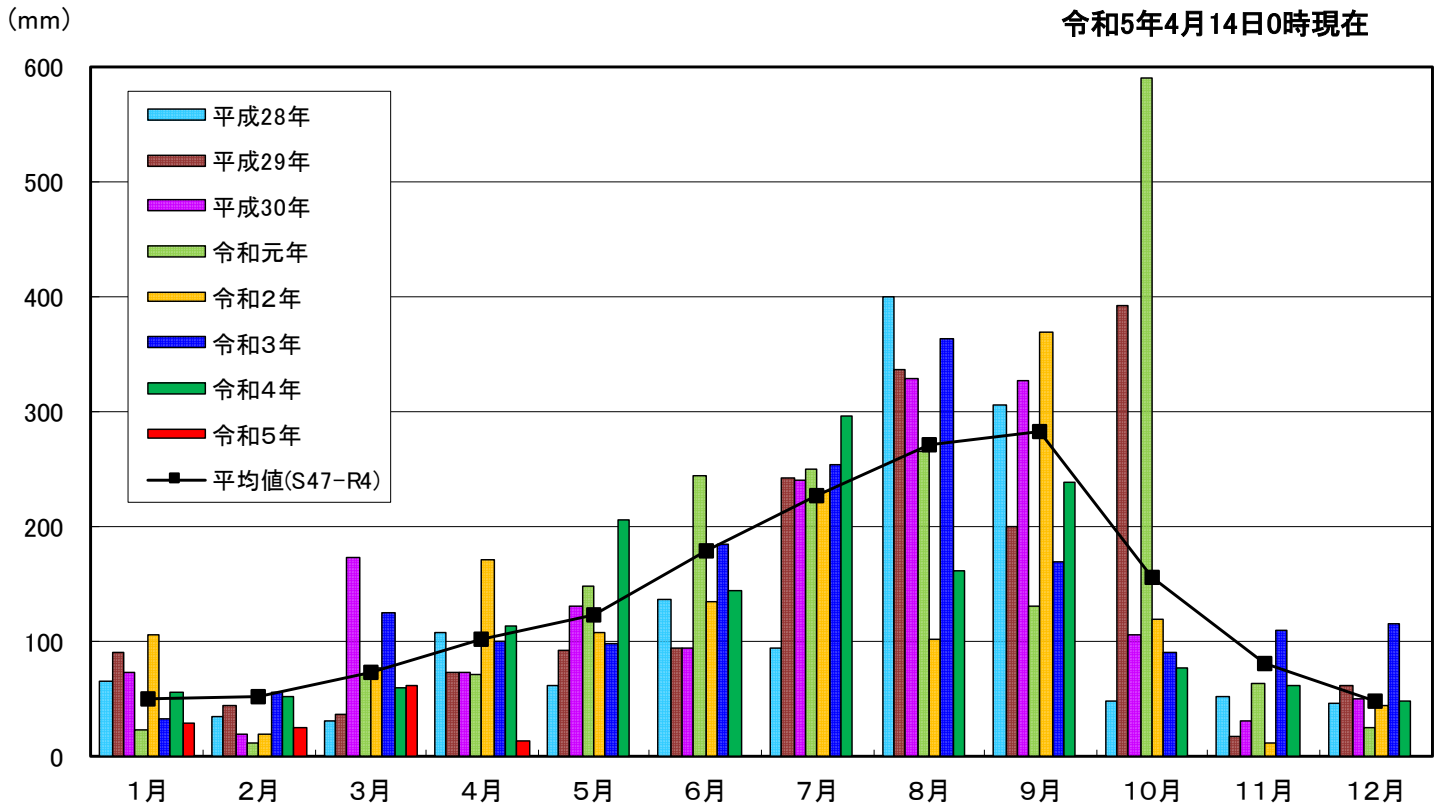
	有効容量 (万m <sup>3</sup> )	現在貯水量 (万m <sup>3</sup> )	貯水率	平均値に対する割合
4ダム合計	25,310	23,924	95%	105%

※・貯水量は速報値です。

・貯水率は有効容量に対する現在貯水量の割合です。

・平均値に対する割合とは、過去の貯水量の平均値(平成25年～令和4年)に対する現在貯水量の割合です。

# 鬼怒川佐貫地点上流域平均降水量



※平成28年、29年、30年は、鬼怒川において渇水により取水制限が行われた年。

単位:(mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成28年	66	35	31	109	63	138	94	401	306	49	53	47	1,392
平成29年	91	45	38	74	93	95	242	337	200	392	18	62	1,687
平成30年	73	19	174	74	132	94	240	330	328	107	31	51	1,653
令和元年	23	12	71	71	149	245	251	266	132	590	64	25	1,899
令和2年	106	19	78	172	108	135	231	102	369	120	12	44	1,496
令和3年	34	56	125	101	99	186	255	364	169	91	111	116	1,707
令和4年	56	53	61	115	207	145	296	162	239	77	62	48	1,521
平均値 (S47-R4)	51	52	74	103	124	180	228	272	284	156	82	48	1,654
令和5年	30	26	63	14									133
平均値に対する割合(%)	59	50	85	14									8

注) 令和5年4月は、14日0時までの雨量。  
速報値のため、雨量は今後変更する場合があります。

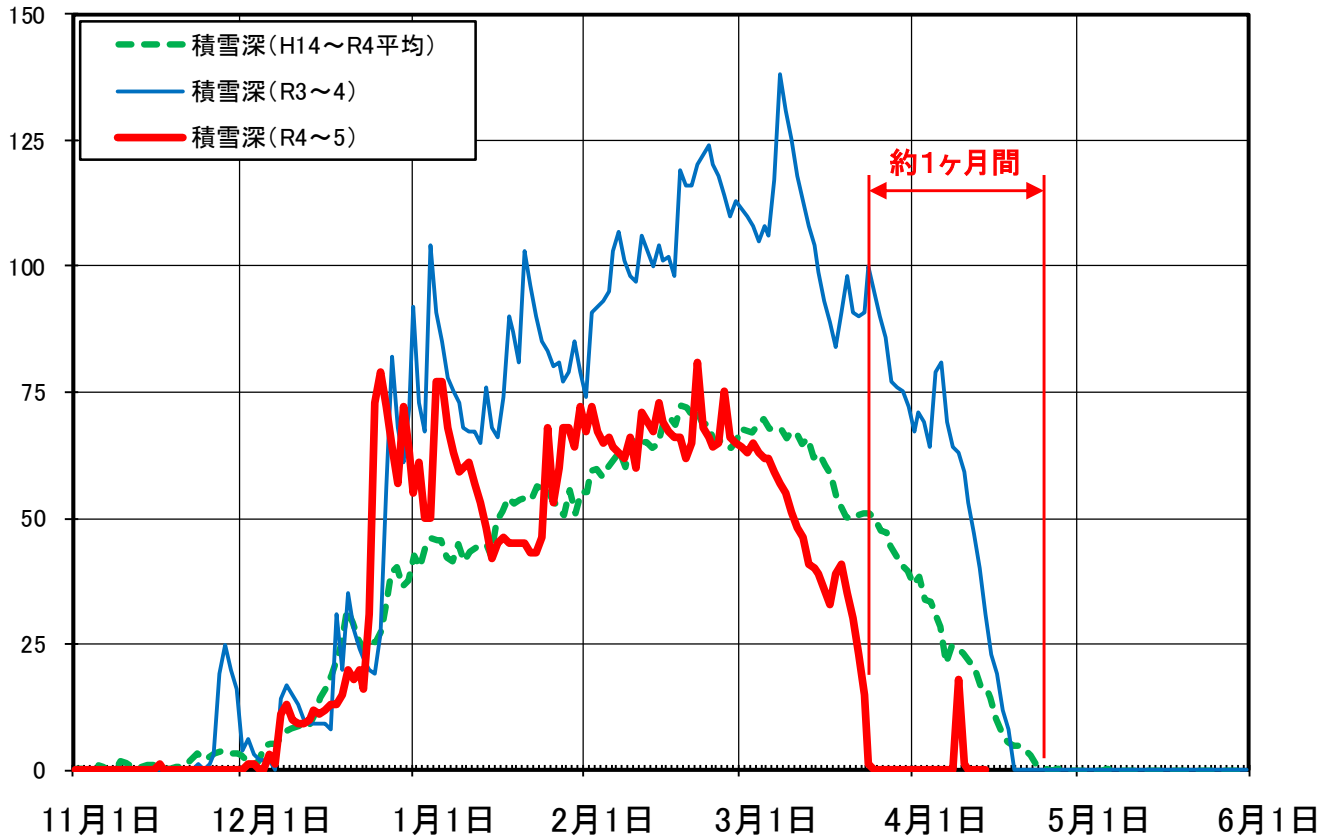
# 鬼怒川上流域の積雪状況

かみうまさか

## 上馬坂地点

令和5年4月14日9時現在

積雪深(cm)



かみうまさか

## (上馬坂積雪観測所 位置図)



本図は、「国土地理院ウェブサイト(地理院地図(電子国土web))」より引用した地図に ▲源流、◎観測所 の位置を付記しています